



令和6年2月2日

今治市教育委員会

教育長 小澤 和樹 様

今治市学校給食運営審議会

会長 岡田 敏樹

今治市学校給食費の見直しについて（答申）

令和5年9月29日付け今教給第227号にて諮問のあった今治市学校給食費の見直しについて、慎重に検討を重ね審議した結果、下記のとおり答申する。

なお、留意されるべき事項を附帯意見として申し添える。

記

1 給食費の見直しについて

(1) 見直しについて

当審議会では、これまでの学校給食の現状や食材料費の価格上昇、愛媛県消費者物価指数の上昇率等を踏まえ、適正な学校給食費について検討を行った結果、児童生徒が成長期に必要な栄養素を確保するために必要な質や量を維持し、安全安心で地元産品を多く取り入れた給食の提供を継続するためには、令和6年4月から値上げすることがやむを得ないという結論に至った。

(2) 改定額について

主食と牛乳価格は現行の実費価格とし、副食分は前回給食費を改定した平成26年度から令和4年度までの物価上昇分を補完し、今後の物価上昇分を3年間見込んで以下のとおり引き上げることが適当と考える。

- ① 小学校 一食当たり50円
- ② 中学校 一食当たり55円

2 附帯意見

- (1) 学校給食費の改定による保護者負担増への対応として、給食費の激変緩和措置等について検討されたい。また、国等からの物価高騰に対する支援策があれば、給食費へ積極的に活用されたい。
- (2) 各地域間で異なる給食費について、一番安い旧今治市の給食費で統一し、旧町村との差額については、公費で補助するなど献立水準の維持に努められたい。
- (3) 今後は、原則3年サイクルで物価の動向等を調査し、給食費の見直し（値上げ、値下げ、改定なし）が必要かどうか検討されたい。
- (4) 多子世帯への支援策を含め市独自の保護者負担軽減策について検討されたい。
- (5) 地産地消を推進し、安全安心で栄養バランスのとれた給食の提供について、引き続き努められたい。
- (6) 安全安心で地産地消を推進する学校給食の取り組みについて、情報発信に努められたい。